

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 401

事務事業名	コンベンション誘致事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	武内 拓馬	内線	277

基本目標		活気に満ちた産業のまち
政策	040401	歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光交流のまちづくり
関連施策		

会計	一般会計	
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費
事業コード	030000	コンベンション誘致事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	観光交流都市づくり計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	大村市観光コンベンション協会及びコンベンションを主催する団体		
意図 対象をどのような状態にしたいか	大村市観光コンベンション協会が行うコンベンション誘致事業に対して助成を行い、本市でのコンベンション開催を促進し、大村市のPR及び経済活性化を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	大村市観光コンベンション協会が行うコンベンション誘致事業に対し、総事業費のうち、100名以上の宿泊を伴う場合に交付する開催助成金に係る事業費を全額、その他の事業費を1/2以内で補助を行う。 また、大村市観光コンベンション協会が行う誘致活動に協力する。		
事業期間	平成 11 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、補助
根拠法令、要綱等	大村市観光コンベンション事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 誘致活動件数	計画値	110	110	110	110	福岡セールス(大村班訪問件数)、長崎セミナー・施設見学会参加者(支援団体除く)
		実績値	82	39	75		
	訪問件数及び誘致セミナー参加者数	達成度	74.5%	35.5%	68.2%		
		計画値					
成果指標	① コンベンション誘致延べ宿泊者	計画値	3,000	3,200	3,200	3,200	
		実績値	2,134	2,190	2,566		
	助成金交付対象の延べ宿泊者数	達成度	71.1%	68.4%	80.2%		
		計画値	21,000	22,400	22,400	22,400	
	② 助成金交付団体宿泊金額	実績値	14,938	15,330	18,475		
		達成度	71.1%	68.4%	82.5%		
	平均宿泊金額(7,200円)×宿泊者						

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,156	1,488	1,670	1,987	2,942	2,942	2,942	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	1,156	1,488	1,670	1,987	2,942	2,942	2,942	
② 人件費(千円)	2,146	1,738	1,628	1,464	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.27	0.23	0.23	0.20	コンベンション誘致事業に対して補助を行う	コンベンション誘致事業に対して補助を行う	コンベンション誘致事業に対して補助を行う	
時間外勤務(時間)			3	5				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	3,302	3,226	3,298	3,451				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	県観光連盟及び県スポーツコミッションと連携し、県内及び福岡県のスポーツ関係団体に対し誘致活動を行い、大村市へのコンベンション誘致に努めた。
事業が抱える問題・課題等	九州・全国規模のコンベンション誘致は、県観光連盟及び県スポーツコミッションと連携した継続的な誘致活動が必要であるが、今後、大学等のスポーツ・文化活動の合宿誘致も強化していく必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	コンベンション誘致事業は、宿泊業や料飲業へ直接的経済効果が多大であり、観光関連産業にもたらす波及効果が大きいため、行政が支援する必要性は高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	コンベンションを誘致することにより、市内での宿泊と飲食等による消費が発生し、更に、アフターコンベンションとして観光関連産業への経済波及効果も期待されるため、市も積極的に関与していく必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	他自治体(長崎市・佐世保市・島原市・諫早市・壱岐市・五島市)との競争や、景気変動等による大会参加者数への影響など厳しい状況が続く中、当初の目標を達成することができなかったが、一定の経済効果はあった。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	高速交通網に恵まれた本市の地理的優位性を生かした「コンベンションシティ大村」を目指して、大村市観光コンベンション協会を中核に官民一体となったコンベンション誘致による経済波及効果は大きく、施策貢献度は高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	コンベンションの誘致件数の増加に伴い協会の事業費を圧迫するため、総事業費のうち開催助成金に対する補助率を継続して交付しているものであり、現状での減額見直しの余地はない。						
【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし		

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充
--------	----

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	県観光連盟及び県スポーツコミッションと連携した誘致活動の参加のほか、大学等のスポーツ・文化活動をターゲットに、合宿誘致活動を積極的に行うため、コンベンション施設等を掲載したパンフレットを作成する。また、開催助成金及び対象の拡大を行い、100%補助を継続して行う。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	今後の方向性	拡充	
	終期設定				終期設定		
	意見等				内容	事業の方向性は認めるが、助成金の対象と金額で他市との差別化を図るなどし、戦略的に取り組むこと。	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。